

せかいいさん なに
世界遺産って何？

世界遺産とは、国や民族をこえて守らなければならない、世界中の人々にとっての宝物です。1972年にユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」(世界遺産条約)にもとづいて登録されています。文化遺産、自然遺産、複合遺産(文化遺産と自然遺産両方の性格をもつもの)の3種類があり、2018年3月の時点で、計1,073件の世界遺産があります。エジプトのピラミッドや、中国の万里の長城、オーストラリアのグレートバリアリーフなどが有名です。日本で登録されている世界遺産は21件で、奈良や京都の文化財、原爆ドーム、厳島神社、琉球王国のグスク、白神山地、屋久島などがあります。



せかいいさん
ユネスコ世界遺産



かみやど しま むなかた おきのしま かんれんいさんぐん
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群



ふくおかけん せかいいさん
福岡県の世界遺産

福岡県にはもう一つの世界遺産があります。2015年7月に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」には、大牟田市にある三池炭鉱・三池港関連施設、北九州市と中間市にある官営八幡製鉄所関連施設が含まれています。この遺産は、8県11市にまたがる23の構成資産からなる世界遺産です。



かみやど せいの せいの
官営八幡製鉄所日本事務所

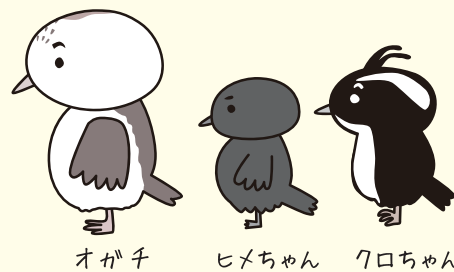


みいけんこうみやはらこう
三池炭鉱官原坑

はっこう と あ さき
発行・お問い合わせ先

かみやど しま むなかた おきのしま かんれんいさんぐん
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会事務局
(ホームページ <http://www.okinoshima-heritage.jp/kids/>)

ふくおかけん せかいいさんしつ
*福岡県 世界遺産室
でんわ:092-643-3162 / ファックス:092-643-3163
むなかたし せかいいさんか
*宗像市 世界遺産課
でんわ:0940-36-9456 / ファックス:0940-36-6912
ふくつし ぶんかざいか
*福津市 文化財課
でんわ:0940-43-8134 / ファックス:0940-43-3168



オガチ ヒメちゃん 7口ちゃん

はっこう ねん がつ
発行:2018年3月



ねん がつ せかいいさん とうろく
2017年7月 ユネスコ世界遺産に登録されました

かみやど しま おなかつた おきのしま かんれんいさんぐん
 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群とは？



こだい いの
 古代の祈りのすがたがわかる
 きちよう いさん
 貴重な遺産なんだって！



おきのしま い
 ※沖ノ島に行くことはできません

おきのしま にほん かんこく あいだ うみ げんかいなだ う
 沖ノ島は、日本と韓国との間の海、玄界灘に浮かぶ島です。沖ノ島では、古墳時代の4世紀後半から平安時代の9世紀末(およそ1650～1100年前)にかけて、大陸への航海の安全を願って、国をあげて盛大な祭祀(神様へお祈りするまつり)が行われました。島そのものが「神様」として守られてきたので、その遺跡はほぼ手つかずで残されてきたのです。



おきのしま い いせき
 沖ノ島祭祀遺跡(まつりのあと)



かみや
 たくさんの鏡がおさめられているよ!!

おきのしま さいし おこな こだい せうぞく おなかつたし
 沖ノ島で祭祀を行ったのは、古代の豪族、宗像氏です。
 おなかつたし おきのしま やど かんが かみや しんこう
 宗像氏は、沖ノ島に宿ると考えられた神への信仰から、
 おなかつたさんじよしん しんこう はげく おなかつたし うみ み
 宗像三女神への信仰を育みました。その宗像氏が海を見
 みた だいち はか しんぼろ ぬやまこふんぐん
 渡す台地につくったお墓が、新原・奴山古墳群です。



しんぼろ ぬやまこふんぐん
 新原・奴山古墳群



おきのしま おきのしま
 沖津宮(沖ノ島)



なかつみや おおしま
 中津宮(大島)



へつみや きゅうしゅうほんど
 辺津宮(九州本土)

おきのしま さんじよしん じんじや おなかつたいしや
 沖ノ島は三女神をまつる神社である宗像大社の一部として、今日まで守り伝えられてきました。おきのしま なかつみや へつみや みつ みや おきのしま
 沖津宮、中津宮、辺津宮の三つの宮と沖津宮
 ようはいしよ あ おなかつたいしや い おなかつたいしや
 遙拝所を合わせて宗像大社と言います。宗像大社は、沖ノ島から始まった大変古い神社です。



おきのしま ようはいしよ おおしま
 沖津宮遙拝所(大島)

しま あが うやま でんとう こだい げんだい つづ
 島そのものを崇め、敬う伝統が古代から現代まで続いているこの遺産は、
 せかいてき きちよう そんざい
 世界的に貴重な存在です。



せかいいいさん
 だから世界遺産に
 とうろく
 登録されたんだね!

沖ノ島ってどんなところなの？



おきのしま ニぶん つく ころ
沖ノ島は古墳を作っていた頃から
かみさま いの しま
神様に祈りをささげる島だったんだよ！

沖ノ島の祭祀の移り変わり

おきのしま おお いわ あつ ばしょ こだい さいし おこな あと しょ み
沖ノ島では、大きな岩が集まっている場所で、古代に祭祀を行った跡が22カ所も見つかっ
ていて、500年をこえる祭祀の移り変わりをし
知ることが出来ます。

西暦) 350	592	710	794	900 (年)
こぶんじだい 古墳時代	あすかじだい 飛鳥時代	ならじだい 奈良時代	へいあんじだい 平安時代	
せいぎこうはん 4世紀後半～5世紀	せいぎこうはん 5世紀後半～7世紀	せいぎこうはん 7世紀後半～8世紀前半	せいぎ 8世紀～9世紀末	
がんじょうさいし いせき 岩上祭祀遺跡	いのかげさいし いせき 岩陰祭祀遺跡	はんいわかげ・はんろてんさいし いせき 半岩陰・半露天祭祀遺跡	ろてんさいし いせき 露天祭祀遺跡	
おお いわ うえ のこ 大きな岩の上に残され た遺跡	おお いわ かげ のこ 大きな岩の陰に残され た遺跡	いのかげ せこ はな 岩陰から少し離れた 場所に残された遺跡	おお いわ はな たい 大きな岩から離れた平ら な場所に残された遺跡	

しゅうつどひん ちゅうごくたいりく ちようせんはんとう
出土品には、中国大陸や朝鮮半島からもた
らされたとても貴重なものもあります。中
には、シルクロードをとおって、イラン(ペルシ
ア)からやってきたものも含まれています。
がいこく ころりゅう せいだい さいし
外国との交流がうまくいくように盛大な祭祀
が行われました。



おきのしま み たからもの 沖ノ島で見つかった宝物

おきのしま やく まんてん しゅうどひん こくほう しい
沖ノ島で見つかった約8万点の出土品は、すべて国宝に指定されています。



さんかくぶち しんじゅうぎよう
三角縁神獣鏡 *4世紀ごろ

ふち さんかく かつち かがみ ちゅうごく かみさま しんじゅう
縁が三角の形をした鏡で、中国の神様や神獣がデザインされてい
ます。日本では、鏡は特別な力をもつ道具と考えられていました。

きんせい ゆびわ
金製指輪 *6世紀ごろ

ちようせんはんとう しらぎ くは おうさま ゆびわ おな
朝鮮半島の新羅という国の王様の指輪とほとんど同じデザインで、
新羅からもたらされたと考えられています。



こんどうせいほ ようつきうず
金銅製歩揺付雲珠 *6世紀ごろ

うま かが そうしやくはん ある かが ゆ ゆうが しらぎ
馬を飾るための装飾品の歩くと飾りが揺れる優美なもので、新羅か
らもたらされたと考えられています。

こんどうせいりゅうとう
金銅製龍頭 *7世紀ごろ

ひと つか かせ つ さ さあ やき かが
えらい人が使う笠などを吊り下げたための竿の先につける飾りで、
ペラで出土しています。中国でつくられたと考えられています。



ならさんざいこつぼ
奈良三彩小壺 *8～9世紀ごろ

とう ちゅうごく さんざい ぎじゆつ つく にほん さいしよ
唐(中国)の三彩の技術をもとに作った、日本で最初の
色をつけた焼き物です。

おきのしま たからもの のこ どうして沖ノ島にたくさんの宝物が残ったの？



おきのしま むなかつたいしや しんじよく はい とうない もの も かん
沖ノ島には、宗像大社の神職しか入ることができません。また、「島内の物を持ち帰っ
てはいけない」「島で見たり聞いたりしたことを人に話してはいけない」など、昔からあ
るおきのしま たからもの まも つづ
多くのしきたりによって沖ノ島の宝物は守り続けられてきたのです。

宗像三女神ってどんな神様なの？

むなかたさんじょしん たんじょうしんわ 宗像三女神の誕生神話

たいようしん おとうと ちてい くに よみ くに い めい
太陽神アマテラスの弟スサノオは、地底の国（黄泉の国）へ行くように命じられ、別れのあいさつをするために、アマテラスのいる高天原に行きました。ところが、アマテラスは乱暴者のスサノオが国を奪いに来たのではないかと疑いました。そこで、スサノオは自分の心が潔白であることを証明するために、生まれてくる神様の性別によって、スサノオが正しいかを定める誓約（占い）を行うことを提案しました。アマテラスはスサノオの剣を三つに折り、井戸ですすぎ、かみ砕いて口から霧を吹きました。すると、その霧の中から三女神が生まれ、スサノオが正しいことが証明されました。こうして誕生したのが、田心姫神、湍津姫神、市杵島姫神の宗像三女神です。

しんわ むなかたさんじょしん めい
神話では、宗像三女神は、アマテラスの命により、
むなかた ちようせんはんとう うみ まも がみ ころりん
宗像から朝鮮半島への海の守り神として降臨
したとされ、現在も多くの人の信仰をあつめて
います。



まいとし ひら さい
毎年10月1日に開かれる“みあれ祭”
は、三女神が年に一度、辺津宮にそ
ろうお祭りです。今から約750年前の
まつ いま やく ねんまえ
神事をもとにして行われています。

おきのしま
沖ノ島
むなかたたいしやおきのみや
宗像大社沖津宮
(田心姫神)

おしま
大島
むなかたたいしやおきのみや
宗像大社中津宮
(湍津姫神)

かみづしんこう ようす
海上神幸の様子

どんな人たちがおまつりをしたの？

おきのしま さいし おこな むなかたさんじょしん
沖ノ島で祭祀を行い、宗像三女神をまつ
るようになったのは、宗像地域を治めて
いた豪族、宗像氏です。航海が得意
だった宗像氏は、海を見渡せる台地にお
墓をつくりました。新原・奴山古墳群は、
5世紀から6世紀（1600～1400年前ごろ）
につくられた全部で41基の古墳群です。



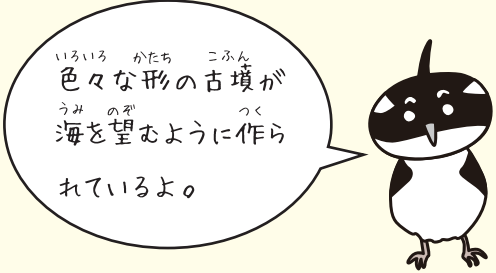
古墳がつくられた当時の様子(CG)



7号墳(古墳)



30号墳(前方後円墳)



おきつみやようはいしよ 沖津宮遙拝所ってどんなところ？

おきつみやようはいしよ おきのしま はな おおしま きたがわ うみや ぶだん
沖津宮遙拝所は、沖ノ島からおよそ48km離れた大島北側の海辺にあります。普段
は行くことができない沖ノ島を遠くから拝む(これを「遙拝」といいます)ために、
島に向かってつくられました。空気の澄んだ日には、ここから沖ノ島がよく見えます。



宗像大社沖津宮遙拝所



遙拝所から沖ノ島を望む